



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社

コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	86,075	13.3	6,707	72.3	6,481	85.2	3,782	113.4
24年3月期第2四半期	75,985	△0.4	3,893	△15.9	3,499	△23.1	1,772	△27.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,532百万円(119.5%) 24年3月期第2四半期 1,609百万円(△25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	115.98	113.86
24年3月期第2四半期	55.25	54.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	114,326	84,357	70.0
24年3月期	108,474	80,417	71.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 80,037百万円 24年3月期 77,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	42.00	42.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,300	6.1	15,200	24.1	14,900	19.3	8,500	19.8	260.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) カルビー(杭州)食品有限公司、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	32,673,450株	24年3月期	32,540,950株
25年3月期2Q	1株	24年3月期	1株
25年3月期2Q	32,615,532株	24年3月期2Q	32,080,614株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2 平成25年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,673,450株により算出しております。

3 当社は、平成24年11月1日(木)に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかな回復基調にあるものの、世界的な景気減速懸念や円高の長期化、デフレの影響等により、依然として先行き不透明な状況にあります。スナック菓子業界におきましても、厳しい経営環境が続きました。

このような環境にあつて、当社グループは、引き続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。イノベーションでは、海外事業の拡大に向けた取組みとして、北米においてペプシコグループと業務提携しました。また、中国、台湾に康師傅(カンシーフ)グループとの合併会社を設立しました。さらに、ポテトチップスの積極展開や新製品「ベジップス」の販売エリア拡大などにより、国内シェアを向上させることができました。コスト・リダクションでは、稼働率向上などにより製造原価率を低減させることができました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、86,075百万円（前年同四半期比13.3%増）となりました。利益面では、国内市場でのシェア拡大を図るため販売促進費を積極的に投下しましたが、売上拡大と製造原価率低減により、営業利益は6,707百万円（前年同四半期比72.3%増）、経常利益は6,481百万円（前年同四半期比85.2%増）、四半期純利益は3,782百万円（前年同四半期比113.4%増）となりました。売上高、利益ともに、東日本大震災の影響を受け低迷した前年同四半期と比較して大幅な増加となりました。

・事業別の状況

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、スナック菓子の売上高が好調で、84,872百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、ポテト系スナックや新製品、海外が牽引し、73,765百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、堅あげポテトの規格改定や積極的なプロモーション活動による定番品（うすしお味・コンソメパンチ・のりしお）の売上拡大により、国内シェアを向上させることができました。また、「じゃがりこ」は、「たらこバター」の定番化（コンビニエンスストア限定）や「お・と・な じゃがりこ」の期間限定品の発売により、売上拡大に貢献しました。「Jagabee」は期間限定品の発売（コンビニエンスストア限定）などにより、売上が伸長しました。その結果、売上高は49,466百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

② 小麦系スナック

主力製品である「かっぱえびせん」や「サッポロポテト」などが堅調に推移したことにより、売上高は10,237百万円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、新製品の投入等を行いました。震災特需のあった前年同四半期の売上を上回ることができず、6,543百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、シリアル食品が好調で、11,106百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。シリアル食品は、「フルグラ」のPR活動強化とスーパーマーケットやドラッグストア等の導入率拡大により、売上高は前年同四半期を上回りました。

(その他)

その他事業の売上高は、物流事業及び販売促進ツールの売上がともに前年同四半期を上回り、1,203百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ5,851百万円増加し114,326百万円となりました。この主な要因は、有価証券及びたな卸資産が増加したことによるものです。有価証券は譲渡性預金とコマーシャルペーパーの取得により増加しました。たな卸資産の増加は、原料馬鈴薯の最大の産地である北海道での収穫期を迎えたことによるものです。

負債は、未払法人税等は減少しましたが、買掛金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,912百万円増加し、29,968百万円となりました。

純資産は、利益剰余金と少数株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3,939百万円増加し、84,357百万円となりました。

この結果、自己資本比率は70.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント低下しました。また、1株当たり純資産額は2,449円63銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,484百万円減少し、17,964百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは7,868百万円の純収入(前年同四半期は1,696百万円の純収入)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額3,771百万円の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益6,444百万円、減価償却費3,031百万円、仕入債務の増加3,799百万円の資金の増加があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9,523百万円の純支出(前年同四半期は1,985百万円の純支出)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出3,867百万円、定期預金の預入による支出3,010百万円、有価証券の取得による支出3,000百万円の資金の減少があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは347百万円の純収入(前年同四半期は590百万円の純支出)となりました。この主な要因は、配当金の支払額1,399百万円の資金の減少がありましたが、少数株主からの払込みによる収入1,594百万円の資金の増加があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成24年5月8日に発表した業績予想を下記の通り修正いたします。

通期 連結業績予想値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	170,000	13,600	13,600	7,500	230.03
今回修正予想(B)	173,300	15,200	14,900	8,500	260.15
増減額(B-A)	3,300	1,600	1,300	1,000	—
増減率(%)	1.9	11.8	9.6	13.3	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	163,268	12,247	12,486	7,096	220.29

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社のグローバル戦略のもと、アジアにおけるスナック菓子の最も有望な市場である中国において、当社製品の売上高とシェアの拡大を図るため、平成24年8月に中国で強い販売力を持つ康師傅控股有限公司の傘下企業である康師傅方便食品投資(中国)有限公司、伊藤忠商事㈱及び当社の3社により合弁会社であるカルビー(杭州)食品有限公司を設立し、同社を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ23百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,448	14,975
受取手形及び売掛金	18,763	17,135
有価証券	13	9,012
たな卸資産	4,920	6,716
その他	4,703	5,873
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	47,847	53,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,580	20,698
機械装置及び運搬具(純額)	14,052	14,036
土地	10,721	10,715
建設仮勘定	1,370	1,680
その他(純額)	816	776
有形固定資産合計	47,541	47,906
無形固定資産		
のれん	4,538	4,222
その他	1,534	1,484
無形固定資産合計	6,073	5,707
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,106	7,094
貸倒引当金	△93	△93
投資その他の資産合計	7,012	7,000
固定資産合計	60,627	60,614
資産合計	108,474	114,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,595	10,348
未払金	3,141	2,933
未払法人税等	3,885	2,677
賞与引当金	3,287	2,629
役員賞与引当金	211	102
災害損失引当金	57	—
その他	5,457	5,914
流動負債合計	22,636	24,606
固定負債		
長期借入金	6	6
退職給付引当金	3,611	3,675
役員退職慰労引当金	497	497
資産除去債務	623	627
その他	681	555
固定負債合計	5,420	5,362
負債合計	28,056	29,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,252	11,359
資本剰余金	10,820	10,927
利益剰余金	56,141	58,557
株主資本合計	78,213	80,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△11
為替換算調整勘定	△560	△795
その他の包括利益累計額合計	△550	△806
新株予約権	85	82
少数株主持分	2,669	4,237
純資産合計	80,417	84,357
負債純資産合計	108,474	114,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	75,985	86,075
売上原価	45,075	49,077
売上総利益	30,909	36,997
販売費及び一般管理費	27,015	30,290
営業利益	3,893	6,707
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	41	46
再商品化委託料精算金	79	44
その他	209	191
営業外収益合計	340	298
営業外費用		
支払利息	3	1
為替差損	606	417
その他	124	106
営業外費用合計	734	525
経常利益	3,499	6,481
特別利益		
固定資産売却益	9	114
助成金受入益	230	—
負ののれん発生益	175	—
災害損失引当金戻入額	163	—
その他	1	5
特別利益合計	581	119
特別損失		
固定資産売却損	27	49
固定資産除却損	38	106
災害による損失	258	—
関係会社整理損	129	—
その他	67	0
特別損失合計	521	155
税金等調整前四半期純利益	3,558	6,444
法人税、住民税及び事業税	1,327	2,574
法人税等調整額	261	△65
法人税等合計	1,589	2,509
少数株主損益調整前四半期純利益	1,969	3,935
少数株主利益	196	152
四半期純利益	1,772	3,782

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,969	3,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	△21
為替換算調整勘定	△412	△381
その他の包括利益合計	△359	△402
四半期包括利益	1,609	3,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,654	3,526
少数株主に係る四半期包括利益	△44	6

第2四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	40,294	42,779
売上原価	23,829	24,582
売上総利益	16,465	18,196
販売費及び一般管理費	13,956	15,274
営業利益	2,508	2,922
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	1	1
再商品化委託料精算金	79	44
災害損失引当金戻入額	—	57
その他	81	53
営業外収益合計	169	166
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	402	148
その他	46	54
営業外費用合計	451	204
経常利益	2,227	2,884
特別利益		
固定資産売却益	0	106
負ののれん発生益	175	—
その他	34	5
特別利益合計	210	111
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	16	89
災害による損失	5	—
関係会社整理損	129	—
その他	13	—
特別損失合計	166	90
税金等調整前四半期純利益	2,271	2,905
法人税、住民税及び事業税	472	1,102
法人税等調整額	493	△7
法人税等合計	965	1,095
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	1,810
少数株主利益	99	101
四半期純利益	1,205	1,709

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	1,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△14
為替換算調整勘定	△291	△89
その他の包括利益合計	△260	△103
四半期包括利益	1,045	1,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,141	1,639
少数株主に係る四半期包括利益	△96	67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,558	6,444
減価償却費	3,220	3,031
のれん償却額	289	316
負ののれん発生益	△175	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△561	△656
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53	△108
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	201	66
前払年金費用の増減額 (△は増加)	70	72
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	36	△0
受取利息及び受取配当金	△50	△62
支払利息	3	1
為替差損益 (△は益)	564	374
助成金受入益	△230	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	13	—
固定資産売却損益 (△は益)	17	△64
固定資産除却損	38	106
災害損失	95	△57
関係会社整理損	129	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△802	1,546
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,004	△1,824
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,819	3,799
未収入金の増減額 (△は増加)	△82	△137
未払金の増減額 (△は減少)	△1,014	△246
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△408	△37
その他	△1,542	△983
小計	5,132	11,575
利息及び配当金の受取額	53	66
利息の支払額	△4	△1
助成金の受取額	230	—
災害損失の支払額	△1,282	—
法人税等の支払額	△2,432	△3,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,696	7,868

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,018	△3,619
有形固定資産の売却による収入	122	274
無形固定資産の取得による支出	△136	△247
有価証券の取得による支出	—	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	7	37
関係会社株式の取得による支出	△13	—
定期預金の預入による支出	—	△3,010
貸付けによる支出	△98	△195
貸付金の回収による収入	107	81
差入保証金の差入による支出	△99	△33
差入保証金の回収による収入	168	192
その他	△17	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,985	△9,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△44	—
長期借入金の返済による支出	△89	—
ストックオプションの行使による収入	529	212
少数株主からの払込みによる収入	—	1,594
配当金の支払額	△893	△1,366
少数株主への配当金の支払額	△38	△33
リース債務の返済による支出	△54	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△590	347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△276	△175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,156	△1,484
現金及び現金同等物の期首残高	18,238	19,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,081	17,964

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。